STYLE BOOK

HIKARINOBE WORKS 2022

Case1　カンヴァスに線を引くように

Case2　日常の装い

Case3　勇者のファンファーレ

Case4　city factory

Case5　和箪笥と英國アンティーク

Case6　住まいの表情 ── 昼と夜・ONとOFF・子供と大人

Case7　造作の愉しみ ── キッチンと水廻りを誂える

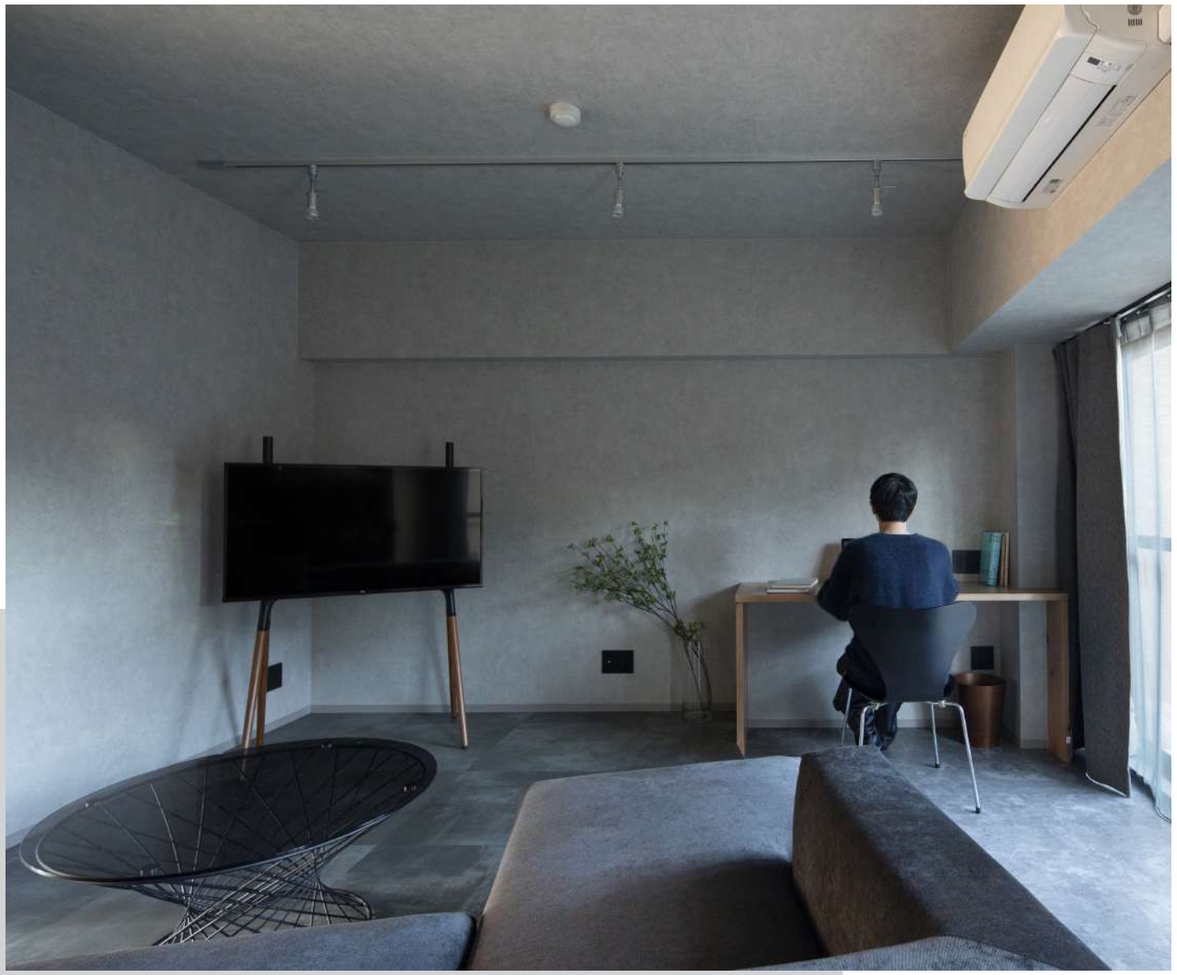
Case8　巴里の空の下

Case9　凪のアーチ・ライン

Case10　空を掴み、緑を育む

Case11　ノスタルジーの気配

ひかリノベ
hikari•renovation

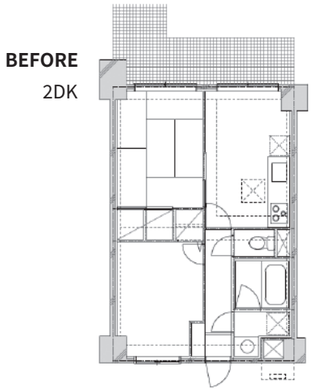


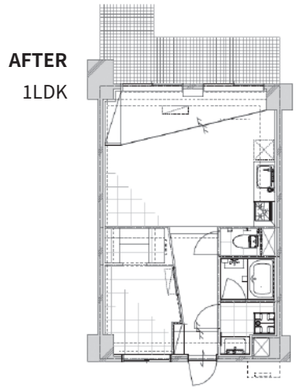
Case1 カンヴァスに線を引くように

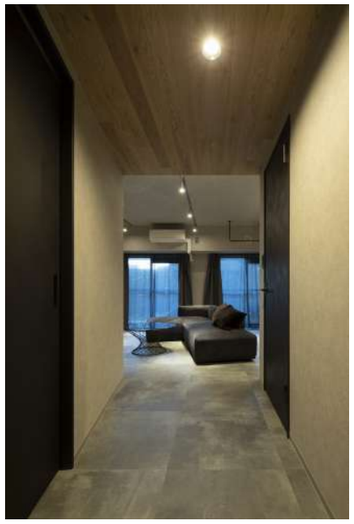
マンション/ 44.78㎡/一人暮らし/ 500 - 1,000万円

デザイナーのお施主様。44㎡のコンパクトなお部屋を、アトリエとしてもプライベート空間としても贅沢にお使いいただけるように、思い切った間取りを提案しました。 それは空間を「斜め」に区切るプラン。まずホールとリビングを繋ぐ廊下を、リビングに向かって幅が広がる台形状に。廊下を進むと徐々に視界が開け、リビングに奥行きと高さを感じられるように。窓側に配したワークスペースも「斜め」。段差でリビング空間とワークスペースに境界をつくり、公と私の空間を分けました。グレイッシュな空間に映える、木のカウンターデスクは造作品。シンプルなコの字形状のデスクですが、柱を回り込むレイアウトで本立てコーナーを、デスク廻り三箇所にコンセントを設け、お仕事に必要十分な機能を備えています。
また照明計画にも工夫が。キッチン側・リビング側・ワークスペース側と三列に配したダクトレール。廊下とリビングの天井段差部分に間接照明を設け、夜は仄かな灯りでバータイムを楽しめます。

ワークスペースはリビングから斜めに床を下げ、公と私をゆるやかにゾーニング。







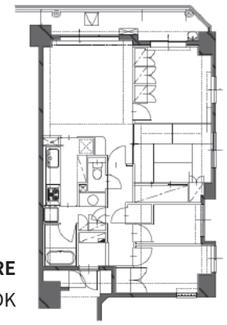
左）玄関からリビングへだんだん幅が広くなる廊下。天井はリビングが一段高くなっており、段差に間接照明が。
右上）玄関は家の顔。シューズクローゼットには靴だけでなく、お気に入りのインテリア小物を飾って。
右下）WIC を備えた寝室。台形の空間でコンパクトながらもゆとりある設計。

Case 2 日常の装い

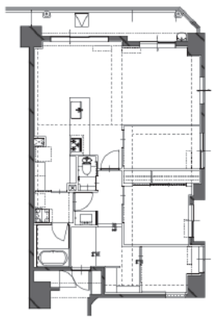
マンション/ 84.30㎡/ファミリー/1,000-1,500万円

居室からは土間で繋がる、離れのようなワークルーム。在宅ワークではオンオフの切り替えが難しいという悩みを、土間をつうじて『プチ出勤』する間取りで解消したプランです。リモート会議の音の問題も、寝室や収納を間に挟むことで解消しました。
玄関に直結した洗面＆ランドリースペースは、外の汚れを持ちこまないための工夫。さらにランドリー/パントリー/LDKと回遊動線になっており、家事効率の面でも合理的。二面の可動棚を設えたパントリー、寝室の壁一面のクローゼット、電動自転車二台の収容＆充電スペースを含むSICと、収納の面でも充実したプランです。
デザイン面では、本物志向の素材にこだわりが。凹凸のないテクスチャーのクロス、チェリーウッドの床、マットな質感のグレーの建具。なかでも無垢の木で仕上げたキッチンはお施主様のお気に入り。コンロや水栓もスタイリッシュな形状で、家具のようにリビングに馴染みます。

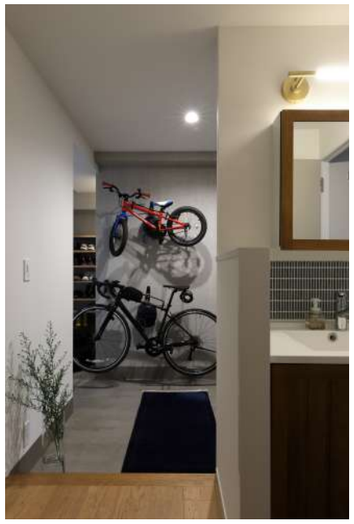
土間をつうじてワークルームへプチ出勤。離れ感覚で集中でき、リモート会議の音も居室に届きにくい。



BEFORE
4LDK



AFTER
3LDK

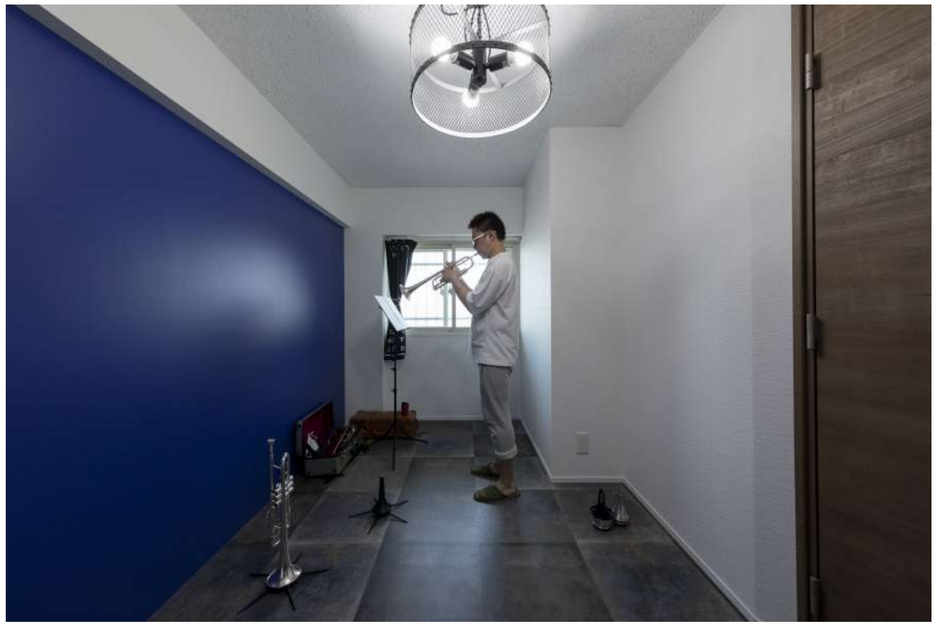


左）玄関と洗面が隣接。右手にはランドリー / 浴室が続く。外汚れを家の中に持ち込まない動線。
右上）家具としても美しい、木のキッチン。エイジングで徐々に飴色に。収納棚が前後にあり、利便性も◎。
右下）キッチン / パントリー / ランドリー / 洗面と回遊できる間取り。洗濯と料理を並行でき、時短につながる。

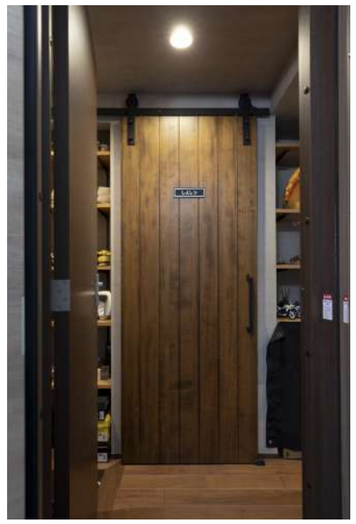
Case3 勇者のファンファーレ

マンション/ 71.38㎡/一人暮らし/1,500〜2,000万円

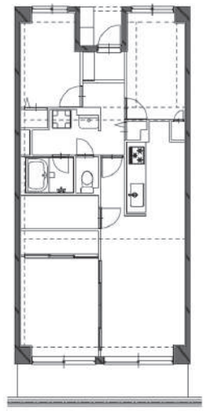
「トランペットの演奏室をつくりたい」。防音室というと既成の防音BOXを設置する方法が一般的ですが、本件では内装を自由に選べる『自由設計の防音室』を施工しました。鮮やかなブルーのアクセント壁をフォーカルポイントに、壁面にFIX窓を設けて圧迫感を軽減。二重扉を閉めると、トランペットの音は生活音で気にならない程度に。住まい全体の内装は、某RPG作品の世界観を取り入れた遊び心のあるデザイン。メイン空間は天井と戸境壁をコンクリートあらわしに。キッチン壁面にはレンガを設え、リビング正面の壁はアンティークレンガと古木調クロスで古城の城門を思わせる意匠。玄関ホールはレンガ調クロスで腰壁風に。寝室のドアにはバーンドアを採用しました。一方でリビング内部には和の小空間も。小上がり畳、格子の間仕切り、障子の丸窓。上質な素材とシックな色遣いで揃えることで、異なるテイストをMIXしてもチグハグにならず自然に仕上がりに。



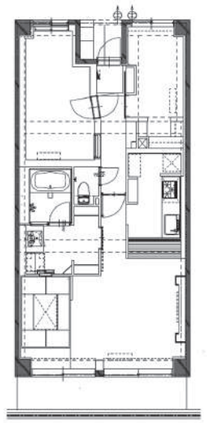
内装を自由に選べる『自由設計の防音室』。二重扉を閉めるとトランペットの音も生活音に紛れ気にならない。



BEFORE
3LDK



AFTER
2LDK



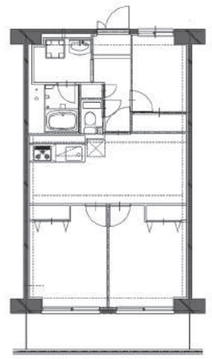
左上）障子の丸窓。隣の洗面室の照明が月明かりのようにこぼれる。
左下）バーンドア。無骨な引戸レールと木の扉、ドット文字のネームプレートで RPG の世界を再現。
右）小上がり畳、格子間仕切り、障子の円窓と和の要素も。色調を統一し異なるテイストを自然に MIX。

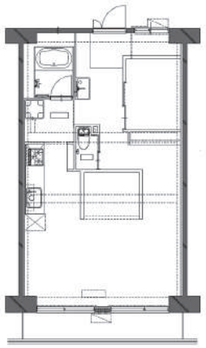
Case4 city factory

マンション/53.76㎡/二人暮らし/1,000-1,500万円

三面の壁と下がり天井に囲まれた、かまくら形状のワークスペース。スピーカーを使用するため、ワークスペースの壁は遮音施工。ワークスペース内にいる時の音は鮮明ですが、裏に回ると重低音が弱まり、生活音で気にならない音量になります。このワークスペースの周囲を、玄関ホール/キッチン/リビング/WICと回遊する間取り。玄関ホール直結で洗面/ランドリー/浴室を配し、外汚れを室内に持ち込まないように。ランドリー/キッチンは隣接とし、料理と洗濯を同時並行ですすめられる合理的な動線。ランドリー天井には骨組材を利用した室内物干しが。キッチンと反対側の通路にはクローゼット。壁を回り込むレイアウトのため、扉がなくともリビング側から自然と目隠しされます。照明は三路スイッチを採用し、点灯消灯のために行き来しなくて良いよう計画しました。

玄関廻りは倉庫をイメージしたインテリア。ホールに大型シンクを設置し、外汚れを室内に持ち込まない。





左上）ワークスペースの右手は WIC。オープンスタイルでも回り込むレイアウトでリビングや廊下からは見えない。
左下）ランドリー天井の骨組材を利用した室内物干し。玄関とキッチンとの間はカーテンで目隠し可能。
右）ワークスペースの左手はキッチン。背面には造作棚。タブレットでレシピを見やすいよう棚板の配置を計画。

Case5 和箪笥と英國アンティーク

マンション/80.06㎡/ファミリー/1,000-1,500万円

英国への海外転勤から帰国したお施主様ご一家。お打ち合わせは英国からリモートですすめました。もっともこだわったのは「片付けの動線」。天井高を活かした三枚引き戸のリビング収納、寝室収納、洗面室手前のリネン庫と、生活空間を圧迫することなく充分な容量を確保した収納計画。キッチンは60cm幅の大容量食洗機を採用し、背後のカップボードへ振り向く動きで移し替えられる動線に。ワークトップは熱い鍋をそのまま置けるセラミック素材。床はロボット掃除機が家じゅうを走行できるよう、水廻りまで全室同じ床材で仕上げ、見切りの無い完全フラットフロアとしました。緻密な照明計画も本件のポイント。高い天井を活かすため、またテレビを置かずプロジェクターを使用することから、リビング照明は天井埋め込みのダウンライトを採用。ダイニング上のランプと併せ、昼間/夜間/お子様のリビング学習時とシーンごとの調光・調色パターンをライコンで制御しています。

プロジェクター使用に適した壁紙を採用。ローボードはお祖母様の桐箪笥をリメイクしたものだそう。

BEFORE
3LDK

AFTER
2LDK

左上）三枚引戸のリビング収納。書籍や細々した文具など全てこの中。扉は端正なリビングに馴染むグレージュ色で。
左下）ダウンライトとダイニングのランプは、シーンごとの調光・調色パターンをライコンで制御。
右下）洗面室手前の通路右側に壁面いっぱいの収納棚を、入ってすぐの左手にもオーブン棚を設けた。

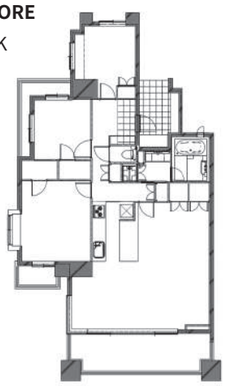
Case 03 住まいの表情——昼と夜・ONとOFF・子供と大人

マンション/ 99.28㎡/ファミリー/2,000万円〜2,500万円

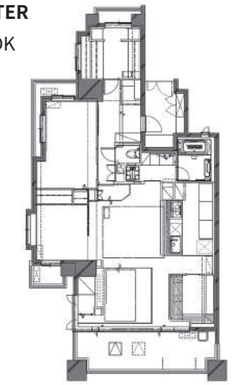
テーマは「可変性」。昼と夜、ONとOFF、子供たちと過ごす時間と夫婦で過ごす時間。日常のさまざまな場面が交差するプランです。子供部屋・書斎・水廻りが直結したLDKは、各室を引戸とフロア段差でゆるやかに繋ぎ、昼間は家事や仕事中も子供たちに目が届く見通しのよさ。夜は一転、ダウンフロアと間接照明が夫婦の時間を演出。天井に設えたスクリーンを下ろせば、ホームシアターも楽しめます。リビング内に設けたハコ型の書斎空間は、半面ガラス張り。ウッドブラインドを下ろせば集中モードに。引き出しを備えたL字デスクカウンター、ディスプレイコーナーに間接照明を設えた本棚は、ご夫婦の使い方に合わせ、ミリ単位のこだわりで造作したオリジナル家具です。「一番の変化は、夫が料理をするようになったこと」と奥様。扉付の家電収納で生活感を見せないキッチンは、使い勝手もデザインも夫婦で話し合いを重ねて決めたもの。夜は腰壁カウンターで、夫婦のバータイムを楽しんでいるそうです。

リビング内に設けたハコ型の書斎。半面ガラス張りで子供たちに目が届く。ブラインドを下ろせば集中モードに。

BEFORE
3LDK



AFTER
2LDK



左）二面の洋服収納と枕棚、奥に大物収納を備えた WIC。使い勝手だけでなくデザインもシックに。
右上）ダウンフロアと折り上げ天井でおこもり感のあるソファスペース。スクリーンを下ろせばホームシアターに。
右下）ソファスペースのダウンフロアは段差に間接照明を設え、リラックス感を。

Case 1 造作の愉しみ── キッチンと水廻りを誂える

戸建/174.51㎡/ファミリー/1,000-1,500万円

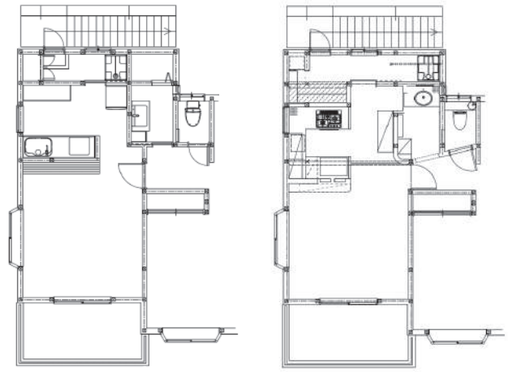
キッチン〜水廻りの部分リノベーション事例。大理石とタイルの天板が目を惹くコの字型キッチン。大理石部分は、パンや焼き菓子作りが趣味というお施主様愛用のペストリーボードを埋め込んだもの。壁面の小物棚も、お手持ちのシェルフを埋め込んだものです。食器棚も造作品。キッチン下収納と同様に、収納する食器やキッチンツールの数・大きさに合わせて設計しました。コンロ正面の壁面は、外壁用のブリックタイル。油を吸収するのでお手入れ要らず。ピザ窯からヒントを得たアイデアです。

キッチンの奥はランドリールーム。使用機会がなかったシャワー室を解体し、空間を拡張。キッチンのレイアウト変更により生まれた空間をアイロンスペースとし、洗う/干す/アイロンを一室に集約しました。水廻りとキッチンの間仕切り壁はアール形状。斜めに空間を区切り、廊下〜キッチンの道程に開放感を。洗面室は三種のタイル、アーチ型の開口とニッチ、ステンドグラスを設えたFIX窓と、絵本に出てきそうな可愛らしさです。

コの字型造作キッチン。コンロ側の壁はブリックタイル。壁面の小物棚はお手持ちのシェルフを埋め込んだ。

※部分リノベーション・図面は施工部分のみ

BEFORE **AFTER**



左上）洗面台・床・壁＆ニッチで三種のタイルを張り分けた洗面室。
右上）フロートトイレを採用。間接照明が足元を照らす。
左下）キッチン天板に大理石のペストリーボードを埋め込み。「重いボードを運ぶ手間が省ける」とお施主様。
右下）洗面室入口はかわいらしいアーチ形状。

Case8 巴里の空の下

戸建/ 163.78㎡/ファミリー/500-1,000万円

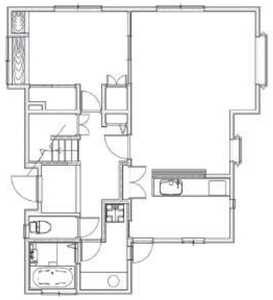
一階部分をリノベーションした事例。パリの薄曇りの空のような色彩に、クラシカルな真鍮のフィラメントライトがおとすやわらかな光と影。クラシックとナチュラルが調和した、パリジャンシックな趣のデザインリノベーションです。モールディングを施したキッチン腰壁は淡いブルーグレーに塗装。キッチン背面の壁はユーロプラストでモルタル風に。テラスへ繋がるドアもグレーで塗り、色を合わせました。壁面のオープン棚は、シャビーな風合いの古材で造作。バックカウンターも造作品で、大理石の天板と真鍮のハンドルがアンティークな装い。ときめくアイテムが散りばめられたキッチン空間です。

板張りの天井がフォーカルポイントの書斎は、居心地の良いブックカフェのよう。壁一面のデスクカウンターとL字の本棚はアルダー材で造作。金物は細身のシルバーを選び、悪目立ちしないように。床はオークの挽き板。書斎天井の板張りと同様、ランダムに張ることでよりナチュラルな空間に仕上がりました。

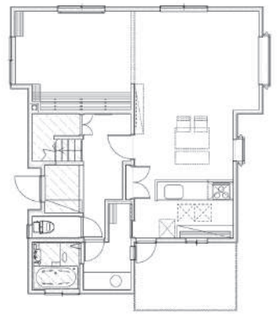
板張りの天井、壁一面のデスクカウンター、L 字型の本棚と木をふんだんに取り入れた書斎はブックカフェのよう。

※一階リノベーション・図面は施工部分のみ

BEFORE



AFTER



左上）木と大理石で造作したバックカウンター。真鍮のハンドルがアンティークな印象。
右上）キッチン腰壁と色を揃えたリビングドア。
左下）モールディングの意匠がクラシカルなキッチン腰壁。淡いブルーグレーが薄曇りの空を思わせる。
右下）シャビーな古材のオープン棚にはガラス食器が良く似合う。

Case9 凪のアーチ・ライン

戸建/ 95.98 ㎡/ファミリー/1,000-1,500万円

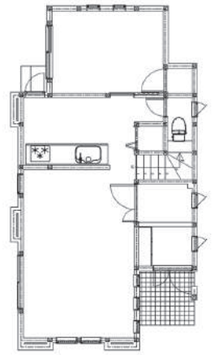
一階部分をリノベーションした事例。ダイニングカウンターを前から横に回り込むようにしつらえた、文字通り「食が暮らしの中心」となるキッチンがフォーカルポイント。一方で戸建のリノベーションで課題になるのが、構造上取り除けない柱や筋交いの扱い。本件のキッチン中央の柱も、構造上欠かせない柱でした。構造計算を行い柱の位置を安全に変更。また深みのあるグレーの塗装で建具と色を揃えることで、空間の調和を乱さない仕上げに。

ワークルームの室内窓から見えるV字のラインも、取り除けない筋交いの一部。デザインとして室内窓越しに筋交いを見せることで、空間にリズムが生まれました。室内窓自体も、一般的な規格より大きめサイズで造作。表面にゆらぎのあるレトロなガラス越しに、LDKとワークルーム双方から互いの顔がほんのりと感じられます。
収納は二階に集約し、土間を拡張。また手洗い用洗面台を新設しました。土間、洗面台、キッチンの腰壁はユーロプラストを採用し、統一感を。

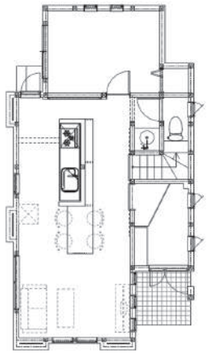
カウンター前面の回り込み部分も、読書や休憩のスペースとして活躍。「あると無いとでは全然違う」とお施主様。

※一階リノベーション・図面は施工部分のみ

BEFORE



AFTER



左上）キッチン腰壁と同じユーロプラストで仕上げた洗面台。マットな黒の水栓も空間にマッチ。
右上）洗面室の入口は、照明の光が丸くこぼれるアールで柔らかに。
左下）ワークルームの室内窓は、立ち上がるとリビング側の家族の顔が見えるよう計画。
右下）玄関土間は上がり框を斜めにとり、空間を最大限広く。

Case10 空を掴み、緑を育む

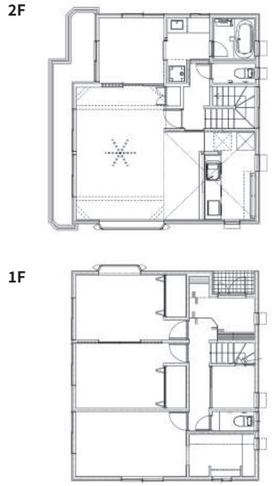
戸建/ 115.09㎡/ファミリー/1,000-1,500万円

梁見せ構造の高い天井、二面の天窓を通じて空から光が降り注ぐ、明るく開放的なリビングが特長です。もともと二階にリビングのある物件でしたが、より明るさと開放感を感じられるよう、天窓をくもりガラスからクリアガラスに変更。壁はホワイトのクロス、梁にはナラ材の木板を巻き、明るくナチュラルな印象に仕上げました。
リビング奥のガラス引戸を開けると、そこはサンルーム。バルコニーに続く掃き出し窓と幅のある腰窓を擁し、日当たり抜群。植物も定期的な剪定が必要になるくらいぐんぐん育ちます。また洗面室に直結した間取りで、ランドリールームとしての機能も。お洋服棚やアイロン台を置いても余裕がある広さで、洗う/干す/アイロン/収納が一箇所で完結します。 リビングとの間仕切りは2枚引き違いの引戸ですが、2枚とも袖壁の中に納まるよう計画。戸を開け放つと、リビングとサンルームがひと続きに。ガラスはゆらぎのあるモール柄で、戸を閉め切っても開放感を損なわず、生活感もさりげなく隠せます。

料理中も家族とコミュニケーションがとれる対面キッチン。板張り天井とタイル壁、オープン棚でカフェ風に。

BEFORE
5LDK

AFTER
5LDK



左上）サンルーム。右手は洗面室。充分な広さ、天井に二列のアイアン物干しをしつらえ、ランドリールームとしても。
左下）リビング側。ガラス引戸の先はサンルーム。右手のドアからサンルーム / 洗面室 /LDK と回遊できる。
右下）木で造作した洗面台。棚板・引き出しつきで収納も◎。モロッカン風のタイルがポイント。

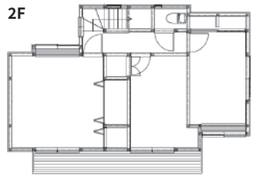
Case11 ノスタルジーの気配

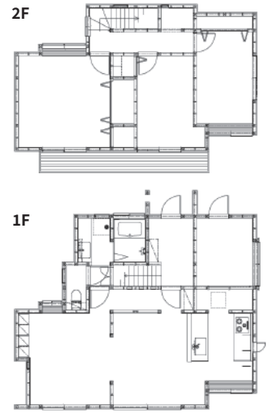
戸建/ 98.67㎡/ファミリー/1,500-2,000万円

既存の和室と洋室・廊下の一部を一室に集約し、広いLDKに。構造上外せない筋交いは、ダイニング側とリビング側を緩やかにゾーニングする役割としてデザインに取り込みました。板張りの天井、木で設えた壁高いっぱいの造作棚がリビング空間のフォーカルポイント。カーテンレールも壁高いっぱいで、空間をより開放的に見えるように。
キッチンは配置を移動して対面式に。背面の壁は藍色の焼き物タイルで仕上げ、ヴィンテージな雰囲気。元々キッチンだった奥のスペースは、手前をパントリー、奥側を作業室に。
玄関の壁はカバンなどが吊り下げられる有孔ボード。玄関ドアも室内のイメージに合わせた木製で、やさしげな印象です。
「戸建ては子どもの足音や声を心配することなく、のびのびと過ごさせてあげられるのが良いですね」とお施主様。新たな楽しみとして、庭にもこだわりはじめたそう。「リノベーションを機に、家に自然と手を掛けたいと思うようになりました」

板張り天井と木の造作棚でナチュラルに。構造上取り除けない柱や筋交いをデザインに取り込んだ。

BEFORE	AFTER
5K	4LDK





左上）キッチン奥はパントリー、作業室と続く。キッチン移動により生まれた空間。
右上）玄関の壁は有効ボード。鞄やお出かけ道具の引っ掛け収納に。
左下）藍色の焼き物タイルが印象的なキッチン。普段使いの調理道具もインテリアに。
右下）玄関扉も変更し、ナチュラルな木のドアに。